

第31回日本近代仏教史研究会

研 究 大 会

プ ロ グ ラ ム

【シンポジウム】

近代仏教史とオカルト研究

——吉永進一が残した課題の可能性——

場所：東北大学（川内南キャンパス）

中講義棟・文学部第一講義室

日時：2023年5月27日（土）

共催：東北大学大学院文学研究科（現代日本学研究室）

東北大学大学院国際文化研究科（国際日本研究講座）

第31回日本近代仏教史研究会研究大会 プログラム

大会委員： クリントン・ゴダール、茂木謙之介、オリオン・クラウタウ（委員長）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。早速ですが、第31回日本近代仏教史研究会研究大会を、東北大学（川内キャンパス）を会場に下記の要領にて開催いたします。諸事ご多般のことと存じますが、ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。 謹白

日時：2023年5月27日（土）

場所：東北大学（川内南キャンパス）中講義棟・文学部第一講義室

地下鉄東西線 川内駅 下車 徒歩5分

受付開始：9:00（個人発表 発表20分・質疑応答10分）

参加申込：研究会ホームページ <https://www.mjbh.jp/>（申込〆切5月20日）

参加費：1,000円（非会員も参加可能、シンポジウムのみ参加は無料）

（昼食は、北キャンパス学食「川内の杜ダイニング」をご利用いただくか、各自でのご用意をお願い致します）



午前の部	報告者名	司会
9:30	山口 陽子（東北大学・院） 加藤咄堂と女性の修養	Yulia BURENINA
10:00	守屋 友江（南山宗教文化研究所） 20世紀初頭の日米におけるアメリカ人女性の越境的な仏教受容	Yulia BURENINA
10:30	陳 継東（青山学院大学） 小栗栖香頂『支那教派大意』について	谷川 穰
11:00	楽 星（東北大学・院） ヴィルヘルム2世〈黄禍の寓意画〉にみる仏教とアジア主義	谷川 穰
11:30	井川 裕覚（上智大学） 近代高野山における金剛流ご詠歌と空海像 ——弘法大師御入定1100年御遠忌を契機として	大谷 栄一
12:00	韓 相允（東北大学・院） 戦後日本の「密教ブーム」言説 ——『高野山時報』と『六大新報』を中心に	大谷 栄一
12:30 ～ 13:30	休憩	

午後の部

13:30	川邊 雄大（日本文化大学） 幕末明治期における真宗僧の「学び」——咸宜園を例として	近藤 俊太郎
14:00	佐藤 厚（東洋大学） 原坦山の東京大学仏教学講義	近藤 俊太郎
14:30	大澤 絢子（日本学術振興会） 戦前期日本のラジオ放送と仏教法要	近藤 俊太郎

シンポジウム 近代仏教史とオカルト研究——吉永進一が残した課題の可能性

15:20	莊 千慧（神戸女子大学） 栗田 英彦（佛教大学） Orion KLAUTAU（東北大学） コメンテーター： 岡本 佳子（国際基督教大学アジア文化研究所） Ioannis GAITANIDIS（千葉大学） 司会： 碧海 寿広（武蔵野大学）	西洋から来た〈東洋〉の展開 —日中の神智学運動を比較して— カルト的場と総力戦 —1930年代の日本心靈学会・仏教・神道の交錯— 密教とエソテリック・ブディズム —近代におけるその交錯の言説史—
17:30	閉会の辞（日本近代仏教史研究会会長・福島栄寿）	

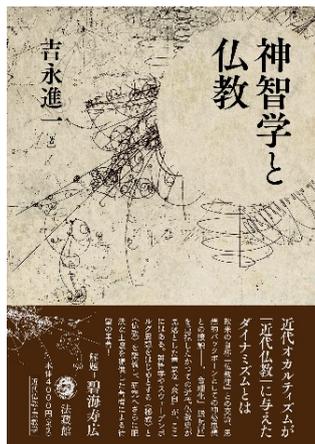
シンポジウム「近代仏教史とオカルト研究」

開催趣旨

日本仏教とモダニティーの関係性を考えるような研究は特に 2010 年代以降、大きく展開した。かつて「封建的な日本仏教」に対しての「近代性」を見出そうとしたような一連の研究に代わって、それまでの近代主義的な態度に疑義を呈するような態度が主流になっていった。すなわち、「日本の近代はなぜ仏教を必要としたか」という末木文美士の問いに象徴されるように、21 世紀以降の近代仏教の研究者はむしろ仏教を通して、「近代とはいかなる時代なのか」という課題に取り組むようになっていった。そのなかで、モダニティーの異端児たる「オカルティズム」と称される一連の思想を軸に「近代仏教」を描こうとしたのは、自称「類似宗教学者」の吉永進一である。近年における欧州の「エソテリシズム研究」の研究を踏まえ、オカルティズムこそ「近代」という時代の最



吉永進一（1957-2022）



たる表現の一つと捉え、その視座から著しい成果をもたらした。碧海寿広は、吉永による研究の特徴を、①「無国籍」なものとしての近代仏教、②「霊と術」という領域に関わる近代仏教、③「脱宗派」のものとしての近代仏教への観点に見出し、彼を「近代仏教の新たな波の」「象徴的な人物」と評している。このような大きな展望の下で描かれた「近代仏教」を、今後、いかに生かしていくのが、近代仏教研究者の大きな課題の一つである。本シンポジウムでは吉永の「残した課題」を考える国内外の研究者に登壇いただき、「近代仏教とオカルト」について問題提起いただくとともに、今後の研究課題について議論できればと思う。

【アクセスマップ】

東北大学（川内キャンパス）中講義棟

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1（川内南）

地下鉄東西線 川内駅 下車 徒歩5分

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/>

